臺灣日日新報

本日八頁

編輯兼發行人　前野蘭若
發行所　臺北市榮町
臺灣日日新報社

本紙定價　一部五錢・一ヶ月前金壹圓拾五錢・三ヶ月同參圓八拾錢・六ヶ月同七圓五拾錢・壹ヶ年同拾四圓・日本內地及支那地方送料不要
廣告料　普通欄一行十五字詰八拾錢　特別欄一行同壹圓五拾錢　記事欄込一行同壹圓貳拾錢
振替口座臺灣一〇番　私書函臺北二番
電話　代表番號二八〇〇　營業用二八〇三　編輯用二八〇四　運動品部二四八二　二八〇五　電信略號タヒ

賀正

明けまして
お目出度ふ
存じ上ます
本年も相不変らず
倍旧の御引立の程願上ます

松井呉服店
台北市榮町京町（本通り）太平町
店主　松井猪兵衛
店員　一同
敬白

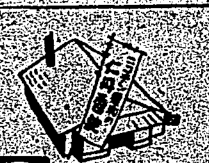
スゴロクノ
シルシニ
グリコ
ヒトツブ

謹賀新年

セーラー萬年筆　￥1.50以上
セーラーインキ　￥.10　￥.20

セーラー萬年筆

株式會社阪田製作所



煙草店は、今や

煙草だけを賣るお店でなく
消化と煙草の好味の香錠を
お薦めする愛煙家の為のお店です

店頭賣品・十錢・三十錢

仁丹香錠

仁丹本舗・森下博營業所

胃痛に
腹痛は
安川コロダイン

壽歯

タバコのみの
スモカ歯磨

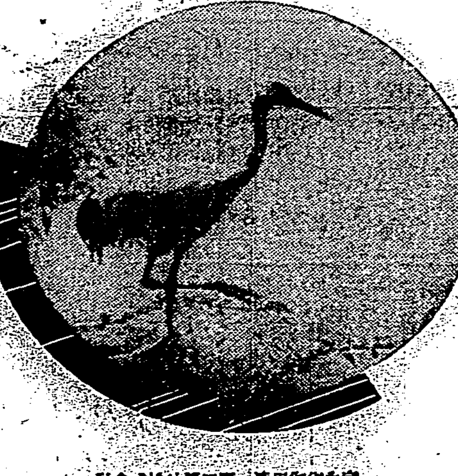
煙草化粧品店にあり
定價十五錢

600

賀正

天下一品
日本一
萬

キッコーマン醤油
マンジョウ味淋



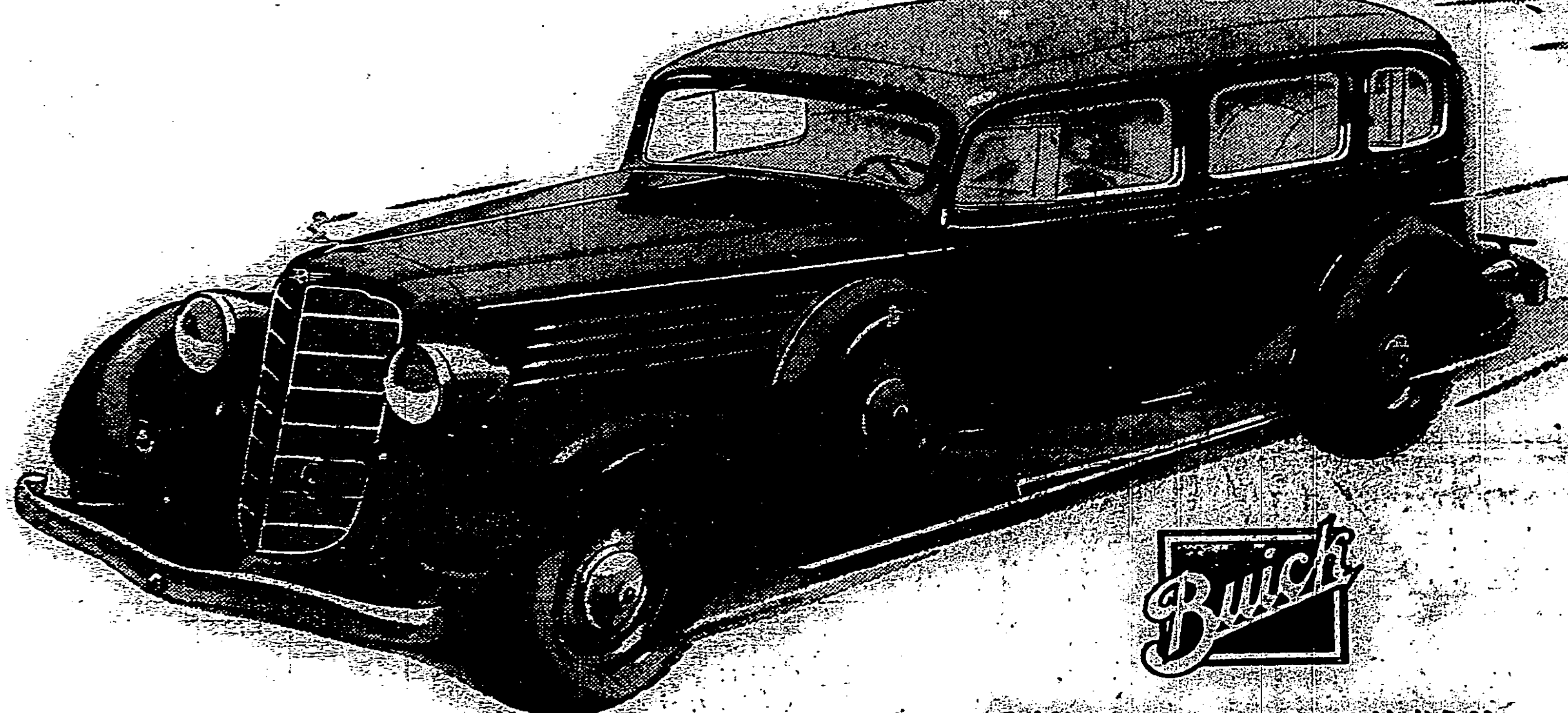
宮内省御用達　野田醤油株式會社

A-3

力と美と新味の漲るビウイク

若しあなたの自動車が面白くなくなつたらビウイクにお召し下さい。ビウイクはいつも新しい興味と満足を與へるのです。生々とした美しさ、空中を滑走する様な乗心地、素晴らしい作動と信頼性、そして乗る方に相應はしき威信、これがビウイク三十年來の傳統的特徴です。

巴自動車商會
臺北市大和町二丁目



Buick

日本ゼネラル・モーターズ株式會社

賀正

祝福！
初春の
御慶と
皆様の
健康を
蜂の一
杯で！

蜂ブドー酒

歴史は愈々古く　聲望は日に新たなり

東京大阪　近藤利兵衛商店

目下
レッテル二枚で
すばらしい景品附
特賣中

D-1

議會解散論 政界に底流し初む

選擧界を淨化するの好機會とて 解散斷行の聲高まる

【東京二日發】貴衆兩院各派間には政局の情勢に鑑み今回の通常議會が適當の時期にかて必ずや解散必至の事態を招き起するであらうとの觀測が有力に行はれてゐる、然し一方には政友會の内部情勢が破綻に歸能であり鈴木總裁派の主流幹部が如何に政府に對し突進せんとしても到底その統制は不可能であらうから結局政友會は臨時議會においても政府に讓歩を加へた一億八千萬圓の災害救濟追加豫算問題も一千萬圓か二千萬圓の追加計上に依つてこれを承認し結局政友系の指導者の下に全面的に軟化し解散回避の態度に出るであらうとの觀測も行はれてゐる、若し政友會が軟化した場合には當然議會解散は回避される譯であるが政友會をして斯くの如く一致せる態度に出でしむるには鈴木總裁系幹部が强硬方針に政友全部を引ずらんとすると同樣の努力を山本條太郎、望月圭介、前田米藏、中島知久平氏等の幹部が努力せねばならぬのであるが其處には非常な苦心があり反政府的空氣と政府支持の空氣と此處に兩面の勢力が抗爭對立することになり結局その統制の結果が議會の解散を餘儀なき窮迫狀態に陷れるであらうとなしてゐる、然して一方政府においても政友會のこの現狀にかては巧みにその操縱策を行へば容易に解散回避の狀勢に導くことは不可能ではないが、然し政友會が何時までも内紛狀態を續けて天下に醜態を暴露することは正義に堪へない次第で政黨の淨化、政界の陶冶たる空氣を一掃する意味においても政府は適當の時期を選んで解散斷行の擧に出づるべきである即ち萬一議會を解散するとすれば今回の解散は從來の政黨内閣下に於いて行はれたる政權獲得目的の議會解散にあらずして政黨の反省並に現下の非常時下における國論統一の目的のための解散であり然もその總選擧は極めて公明嚴正を期すべきであるとの意見が有力である

關係國への傳達 手續は完了 米政府で發表

【ワシントン三十一日發電通】アメリカ國務省はワシントン條約廢止通告の英佛伊三國への傳達手續が右三國駐在アメリカ大使に依りワシントン時間三十一日午前七時を以て終了し茲に一切の手續を完了せる旨を發表した

佛國は不滿 我が廢棄に對し

【パリ三十一日發電通】パリ駐在アメリカ大使から日本のワシントン條約廢棄通告の傳達を受けたフランス政府では三十一日朝ピエトリ海相の名をもつて左の如くステートメントを發表し同條約に對する不滿を明かにし將來の軍縮會議においては重大なる改革を要求すべきことを暗示した

フランスはワシントン條約が廢棄さるる事となれる今日においては同條約を原則においても方法においても根本的に改革せる場合にのみ新條約に參加することを可能とするものである現在の新しい狀況に於いては我々はそれに適はしい新しき協定を遡らねばならぬ、我々は既に之までワシントン條約には決して固執する熱意を有するものではないことを[illegible]なかつた但しその不滿は日本の理由とする所とは異なれるものであり、日本の共同廢棄提議に應ずれば誤解を招く恐れあるためこれに應じなかつたのである

英國に傳達

【ロンドン三十一日發電通】ロンドン駐在アメリカ大使館一等書記官ハーシエル・ジヨンソン氏は三十一日正午本國政府の訓電に基きイギリス外務省にクレーギー參事官を訪問[illegible]米大使が二十九日米國務長官に手交せる日本政府のワシントン條約廢棄通告の[illegible]

西南派との合作 今夏迄に片づける

王寵惠が産婆役となつて奔走 具體案を得て近く南下

【上海一日發電通】中央、西南合作に産婆役の王寵惠は去る二十一日香港より歸滬後汪精衞、孫科、孔祥熙等と會見二十二日奉化に向ひ蔣介石に對西南折衝の經過を報告し西南側提出の合作條件に就き實際商議をなし次いで蔣介石と共に杭州にて北上中の廣東財政廳長區芳浦、陳濟棠等と會見更に孔祥熙を加へ杭州會議を開いたがこの結果對西南合作弁法に相當の進捗を得た模樣で王寵惠は三十一日夜杭州より歸滬したが一日朝左の如く語つた

奉化で蔣介石と會談の結果蔣介石も自分の報告に頗る滿足を表した、然して孔祥熙も近々中に南下の筈で中央側では今夏までに具體的成果を得全國一致の名において今秋代表大會を開催すべく極力奔走中である

殺人テロによつて辛じてソ聯邦を維持

二千萬の無辜の民を虐殺したと 共和黨議員が内情暴露

【ワシントン三十一日發電通】マサチユーセツツ州共和黨議員ティンカム氏は今日左の如きセンセーショナルな聲明を發表して外交界に大きな波紋を投げた

ソヴエット聯邦は最近飢餓に瀕せる一千萬乃至二千萬の無辜の民を政治的目的で殺害したが斯る殺人的テロリストに依つて統制支配さるるソ聯政府に對する承認をアメリカ政府は撤回すべきことを余は議會に提議せんとするものである所の如き殺人テロリストの政治をアメリカが承認することは戰爭熱を煽り且つ國際的に好戰的行動を挑發するものである

大任を果して菱刈將軍凱旋

官民多數の熱誠なる出迎へをうけ 晴朗の二日神戸上陸

【神戸二日發】前關東軍司令官兼駐滿全權大使菱刈隆將軍は明朗に晴れ渡つた新春の二日午前八時丸山副官今岡少佐以下七名の隨員を帶同して郵船扶桑丸で神戸に凱旋をした、此の日神戸港の第四突堤には閑院參謀總長宮御名代後宮少將、陸軍大臣代理河西少將、白根兵庫縣知事其の他官民、學生多數出迎へ船が岸壁に到着するや後宮少將より閑院宮殿下の令旨の傳達あり、次いで所感としてステートメントを發表したが、在任約一年半の明朗將軍は昔變らぬ胡麻鹽頭に聊かの老も見せず自動車で一路甲子園ホテルに向つた、同將軍は四日朝甲子園ホテルに滯在、五日午前六時五十五分大阪驛發列車で途中熱海に寄り七日午前十時十分東京驛着直ちに宮中に參內、在滿事情を奏上する筈である

官民一堂に會し新春を壽ほぐ

一日午前十時より鐵道ホテルにて 新年交禮會を開催

昭和十年の新春を壽ぐ臺北市新年交禮會は細雨そぼ降る元旦午前十時より鐵道ホテルで開催、中川總督、寺内軍司令官、三好、河村諸氏をはじめ臺北在住の官民千四百餘名出席、臺灣助役開會を宣し松岡市尹演壇の拍手を浴びて登壇マイクを前に朗々と左の年頭の式辭を朗讀し終るや全員端を正して君が代を歌ひ續いて開宴、宴酣なる頃中川總督の發聲にて三陛下並に皇太子殿下の萬歲を三唱午前十時半散會した

式辭

茲に昭和十年の新春を迎へ總督閣下軍司令官閣下を首め官民各位の御參同を仰ぎ臺北市新年交禮會を開催するは誠に本市の光榮とする所であります、御許を得まして僣越ながら私より御挨拶を申上げます（中略）今や始政四十周年を迎へ（この間天皇陛下の御稜威と御歷代總督閣下の經綸とは勿論官民一致傳統的島是の實現に向つて躍進的發展を遂げ、島民融和の根柢たる國語の獎勵も敎化と相俟つて大に普及せられ共存共榮の實を擧げつゝあります、殊に過去十有六年間待望せる日月潭水力電氣工事は一先づ完成を告げまして明日の工業發達建設を約するに至りました加ふるに昭和九年度の本島貿易は既に五億圓を突破し、本島貿易史上の最高記錄を示し又臺灣銀行發行券の膨脹に同行創立以來の記錄と云はれ好景氣の反映歷然たるものがあります、この秋に當りまして今般明治節を中心に開催せらるべき始政四十周年記念大博覽會の計畫も發表せられ、又内臺航空定期連絡飛行、臺北大學工科設置、地方制度の改正、南方經濟調査事業等は躍進臺灣の全貌を顯し來り五百萬島民が今年こそはの意氣に燃えて居りまするのは全く本島統治の賜として誠に感謝と慶賀に堪へざる所であります、我が臺北市も市制施行以來已に十有五年この間に於ける市政の發展、市民生活の向上には極めて顯著なるものがありますが、本島の首都として施設經營を要するものが多々あります、殊に今秋の大博覽會開催地として敎育、衞生、

高雄は眞夏

高雄神社社頭にて 初日出を拜す

【高雄電話】高雄の元旦は一天晴れ渡り氣溫八十度餘で眞夏を思はせる暑さであつた午前六時半高雄神社社頭に一千餘名の市民集合し初日出を拜した後君が代を合唱萬歲を三唱して解散したが同八時半には州廳、市役所を始め各官衙、學校に於て一齊に拜賀式を擧行同十時には古例による官民合同新年祝賀會を第一小學校雨天體操場に開催官民千五百餘名參列し定刻開會の辭に次ぎ松尾市尹の式辭あり開宴、西澤知事の發聲にて天皇陛下の萬歲を唱和し同十一時頃盛況裡に解散したが市内は盛裝の人々右に左に行き通ひ又子供達は嬉々として角松を廻つて戯れ終日年賀氣分溢れた

屏東の元旦

祝賀氣分横溢

屏東市の元旦は朝來天氣晴朗、大武の嶺に瑞雲棚引き全市輝く陽光に敬虔みなぎつて、各戸國旗と松飾りに祝賀氣分があふれて居る、市民は朝まだきより續々阿猴神社に參拜して國運の隆昌を祈願し午前九時には市役所初め各官衙學校で夫々拜賀式を擧行午前十時から屏東會館で官民合同の新年交禮會が催された、それより各自思ひ思ひの年賀禮に全市は終日お正月氣分に沸き返つた

本社の祝賀式

本社に於ては元旦午前九時より本社講堂に全社員集合河村社長の新年所感と多望なる本年に處する激勵辭に對し長谷支配人の謝辭あり赤石顧問よりの祝電を披露し最後に河村社長の發聲にて皇室の萬歲を三唱九時半退散した

佐藤參與官

二日對岸へ

佐藤參與官は島內視察を終り臺北にて越年したが二日午前十時二十分臺北發基隆より大華丸にて對岸に向つた

大和丸より（來航）平穩なる航海田、中商局長松方帝糖社長平塚日魯漁業副社長の諸氏多數松旭齋天右一行奇術數番演技正月氣分にて賑か二日午後一時基隆着の豫定（二日著無電）

人事

▲國分[illegible]（日本大學敎授） 一月一日蓬萊丸にて來臺（日の丸館）

▲岩谷一夫（日本大學講師） 一月一日來臺（日の丸館）

馬公の新年

馬公に於ける四方拜の拜賀式は陸海軍並に澎湖廳其他にて各自夫々元旦午前九時から嚴肅に行つた澎湖廳では式後同九時十五分から三十分迄有位帶勳者其他一般に對して御眞影の奉拜をさし許した、又馬公街役場主催恒例の陸海軍並地方官民合同名刺交換會は午前十一時から馬公小學校講堂に於て開催、大野、高屋兩司令官を始め木幡要港部參謀長以下各幕僚、所轄長、櫻井大隊長其他陸海軍將校、大澤廳長、各課長以下全職員及び地方官民四百五十餘名參會、國歌合唱に次ぎ主催者三浦街長は開會の辭に次いで非常時直面の元旦にかける所懷を述べて終つて開宴、大野要港部司令官發聲にて聖上陛下萬歲三唱して盛況裡に正午散會した

新竹の新年

【新竹電話】新竹市の元旦は名物の竹風もなく小雨そぼ降る程度で午前七時半新竹小學校校庭國旗掲揚臺下に市民有志、學校生徒兒童等二千五百名參集、君ヶ代合唱裡に大國旗を掲揚し、各官廳にかて午前八時半より夫々拜賀式を擧行した、引續き午前十時より公會堂にかて市民名刺交換會を擧行したが市民七百五十名參列、君ヶ代合唱後、高木市尹の祝辭あつて閉宴、内海知事の發聲で天皇陛下の萬歲を三唱十時四十分解散した

國威宣揚の祈念式

五日新公園にて

在郷軍人會臺北市聯合分會では五日午前七時より臺北新公園にかて國威宣揚國難打開祈念臺北市聯合分會を擧行することになつたが、式次は開會の辭、國旗掲揚、勅語奉讀、式辭、宣言決議、祝辭、大元帥陛下萬歲、帝國在郷軍人萬歲、會歌合唱、國旗降納、閉式

株式失權公告

一第貳拾壹號ヨリ貳拾五號迄壹株券五枚嘉義郡東勢里堀頭區里堀[illegible]李炎一第參拾壹號ヨリ參拾五號迄壹株券五枚住所同所同番戶李炎一第四拾壹號ヨリ四拾九號迄[illegible]住所同所同番戶李炎一第八拾七號ヨリ八拾八號迄壹株券貳枚住所同所同番戶李炎一第七拾八號及九拾參號迄[illegible]住所同所同番戶李炎一第五拾六號壹株券壹枚[illegible]一第六拾號壹株券壹枚[illegible]林連祥一第六拾七號壹株券壹枚[illegible]一第五拾九號壹株券壹枚[illegible]林阿水一第八拾[illegible]號壹株券壹枚[illegible]右株式ハ商法第百五拾參條ノ規定ニヨリ失權ト爲リタルニ仍テ此段公告候也

昭和九年拾貳月

嘉義郡東勢里堀區里堀字里堀

株式會社共榮精米所

公告

昭和九年十月十六日臨時總會ニ於テ本組合ノ解散決議ヲ爲シ十二月十三日認可有之候ニ就テハ本組合ニ債權ヲ有セラルル向ヘハ昭和拾年參月五日迄ニ申出相成度若シ同期間內ニ申出無之トキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セラルヘク候右産業組合法第七十五條ニ基キ催告候也

昭和九年十二月二十八日

臺北州宜蘭郡頭圍庄頭圍二二六番地

有限責任[illegible]港信用購買販賣利用組合

清算人總代 吳金茂

臺灣銀行券發行平均高

自昭和九年十二月二十三日

至昭和九年十二月二十九日

銀行券發行高 [illegible]

內制限外發行 [illegible]

準備 正貨 二三、八二〇、〇〇六・〇〇

保證 四一、三三五、三二一・〇〇

昭和九年十二月卅一日 臺灣銀行

四日午前九時より午前十二時まで
本町福引場再開
三十一日御引漏の御客樣方の爲め特に福引場の再開を致しますから至急御引換を願ひます
本町會賣出會

內科 兒科 呼吸器病科
入院隨意 淺井醫院 臺北末廣町 電話四〇貳番

大阪商船 基隆出帆
門司神戶行 蓬萊丸 一月四日後四時發
高千穗丸 一月九日後四時發
瑞穗丸 一月十四日後四時發

近海郵船 基隆出帆
門司神戶行 大和丸 一月七日後四時發
朝日丸 一月十二日後四時發
吉野丸 一月十六日後四時發

辰馬汽船 出帆
內地行 桐葉丸 一月上旬基隆發
宮殿丸 一月下旬基隆發

大連汽船 基隆出帆
大連直行 山西丸 一月七日後五時發
山東丸 一月十四日後五時發
代理店 丸一組

謹賀新年

臺南 內ヶ崎良平

臺南 黑田秀博

北門 江口幸市郎

北門郡醫師會員一同

○三組 遠藤彥四郎 臺南

臺南驛前 カフエーホーライ 電話四九八番

臺南市本町參丁目 ㋟田中呉服店 電話四五番

臺南市末廣町 御料理 三吉野 電話五貳貳番

臺南市幸町 辯護士 井戸謙

臺南家政女學院 院長 王兆麟 電話壹〇八七番

臺南市小公園 寶美樓第二支店 電話壹貳貳七番

白石保二 臺南

臺南市大和町一丁目 臺灣織布株式會社 電話七四四・[illegible]

臺南市本町三丁目 硝子器陶器商 加藤兄弟商會 電話九七三番

臺南專賣支局管內 酒類煙草 小賣人組合聯合會

北斗郡北斗街 會席御料理 白鶴樓 店主 洪雖來

北斗郡二林庄二林 二林信用購買利用組合 電話壹七番

北斗郡竹塘庄 竹塘信用組合

北斗郡二林庄二林 二林酒類煙草小賣人組合

北斗郡二林庄二林 二林振業株式會社 電話貳〇番

北斗郡竹塘庄鹿寮 貸地業 曾深河

北斗郡竹塘庄田頭 貸地業 黃龍

文山醫院 電話二林七番

北斗郡二林庄大排沙 貸地業 陳梓 陳成勳

北斗郡 北斗街役場 街長 陳章琪 助役 岡田治之助 會計役 謝水德

北斗郡 溪州庄役場 庄長 鄭添益 助役 內田正男 會計役 謝奎明

北斗郡 埤頭庄役場 庄長 張清風 助役 松延寅松 會計役 吳在現

北斗郡 二林庄役場 庄長 林爐 助役 霜田登 會計役 洪兩縣

北斗郡 竹塘庄役場 庄長 莊日 助役 青山市太郎 會計役 曾結生

北斗郡 沙山庄役場 庄長 謝彪 會計役 謝融

北斗郡二林庄二林 農場部 材木部 製材部 寶樹 主人 謝蚶目

關門報知新聞社 臺灣總支社長 張耀東 臺中市

東勢街 原泰良

東勢街 古藤誠助

東勢郡土牛 近藤自動車運輸株式會社 社長 近藤良吉 營業種目 乘合、貨物、貸切

東勢街長 賴雲清

東勢街 寺師經一

員林郡永靖庄長 渡邊正

南投商工會 南投酒類煙草小賣人組合

千代田生命二林代理店 司法代書人 洪扁

北斗郡二林庄二林 吳順成

施應德 施惠洲

北斗郡北斗街 會席御料理 別有天 店主 魏呆

北斗郡北斗街 會席御料理 昭樂樓 店主 謝友壬

二林製糖所構內 二林自動車 成利商會 洪文華

北斗郡二林 大福醫院 陳大福

北斗郡二林庄田頭 貸地業 黃進財 黃進俗

北斗郡北斗街 肥料穀物商 永發商店

南投郡南投街 南投信用購買組合 浦任

員林 陳阿員

集茂農園 賴火烈

斗六街 鄭沙棠

謹賀新年

謹賀新年
大和行
勳三等 **辜顯榮**
臺北市永樂町五丁目 電話貳七八番

錦記製茶株式會社
陳天來
臺北市港町三丁目

林本源柏記產業株式會社
社長 **林柏壽**

謹賀新年
錦茂茶行
臺北市太平町三ノ八六番地

駱駝商標ゴム靴製造元
淺拖鞋卸商販賣元
東陽ゴム株式會社
許成利商行
臺北市日新町一丁目
營業用電話二四三〇番
工場用電話一六七七番

土木建築請負業
HO式廻轉塵芥箱製造發賣元
格致商行
王霖
臺北市新富町一ノ一〇〇 電話貳九壹五番

平田藤太郎
臺北市川端町

森山木工所
臺北市濱町三丁目 電話參貳六六番
森山木工所製品 京町賣店
臺北市京町二丁目 電話壹四八八番

臺灣煙草
賣捌人組合臺北支部

谷河梅人　奧村文市　郭廷俊　雄谷雄作　稅所重雄　松本邦一郎　雷俊臣　北條熊人　塚本勝　吉良一義　本山直枝　中田正明　岡本賢一

謹賀新年
昭和九年元旦

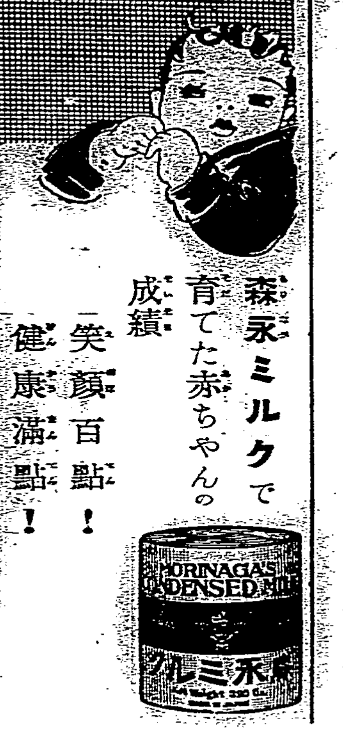
池田好治　今道定治郎　新見喜三　土井豐吉　渡邊喜三郎　高石威泰　田村作太郎　園部良治　浦田永太郎　藤江醇三郎　神戸駒一　古賀達郎　江原節郎　住吉勇三

胃腸の妙薬
デルビー
風の妙薬
ダンダン
臺北　森田信生堂

臺北市榮町
有限責任 **臺北信用組合**
電電五〇八番

士林街福德洋一三三
臺灣製紙株式會社
電話七六一番
士林工場
電話二〇三八番

森永ミルク



森永ミルクで育てた赤ちゃんの成績
笑顔百點！
健康滿點！

使つた人が長く效くと云ふ
各藥店にあり

TAIPI SKIN REMEDY
皮膚病新良劑
泰皮
MANUFACTURED BY NIIHARA.T.F
發賣元 台北市京町藥局

發賣元 臺北市 **京町藥局**

臺北刑務所
藤製品　木工品　竹製品　臺灣特產物　子供乗物類
中島藤製品商會
臺北市本町二丁目八番地 電六七五番
店主 中島嶺
中島分店
臺北市西門市場構內仲店六號（電話構內五四番）

株式會社 **守谷商會臺灣支店**
臺北市本町一丁目四十番地
電話壹五八貳番 壹五九番

臺灣コークス株式會社
臺北市表町二丁目
電話一一三番

カセイン塗料 臺灣發賣元
岩城塗料製造株式會社臺灣出張所
臺北市榮町四丁目（電二〇八八）

臺北印刻業組合
電話一五一二番

最新式電氣冷凍機應用
臺灣魚食普及會宣傳部
ヒノマル魚店
臺北市本町壹ノ貳參（郵通り）
電話貳七八參番

㊝**天龍木材株式會社臺北支店**
臺北市驛前 電話參參七七番 長六六參番
出張所 嘉義市北門外 電話六二〇番
工場 羅東街十八埒 電話三三番

明るい家庭に均質牛乳
臺北市上奎府町二丁目（電話二八三番）
臺灣全島移入元 **大塚合名會社**

臺灣オフセット印刷株式會社
臺北市宮前町
電話貳四參番 參四五〇番

西門市場
（賣店）

創業明治四十一年
かどや菓子店
電話構內參番

神戸精肉直移入
田伍作牛肉店
電話構內貳七番

天ぷら一式
長崎屋
電話構內八壹番

臺北市太平町二丁目 電話貳五參番 貳六七九番
張東隆商行
支店 基隆港
出張所 新竹市
同 蘇澳港

臺北州自動車營業組合
明石町 電話一二九二番

臺北市大正町二條通り
訓眉建業株式會社
電話二九二〇番

株式會社 **和榮商會**
臺北

臺北市醫師會

各種人參
馳名丸散
牛熟藥材
特色飲片
臺北市永樂町二ノ八七番地
仝 **西瀛公司**
電話 [illegible]

臺北理髮營業組合

臺北和洋雜貨卸商組合
組合員一同

硝子塗料
蕃薯店
電話二八三五番
謝蕃薯

有限責任 **龍江信用組合**
電話 [illegible]

內外物產輸移出入業
株式會社 **聯發商行**
臺北下奎府町一 電話長貳八八八番

賀正
正美ミシン商會
臺北市日新町一 電話四四七六番

染料雜貨卸商
臺北市太平町三ノ一四二
林揚川商行
電話壹七七壹番

貿易商
臺北市永樂町四丁目
怡和泰商行
電話五貳四番

カフエーヱルテル
臺北 電話四一〇九番 二四五八番

記念寫眞は特に勉強致します
太平寫眞館
太平町三 電話四貳四〇番

中華料理
臺北市日新町二丁目
蓬萊閣
電話六貳番 七四九番 壹參七五番

臺北市大龍峒町六五番地
昭和家畜株式會社

恭賀新禧
臺北市永樂町
李延齡

門司豐南信託公司
臺灣代理店 **天南信託公司**
臺北市永樂町五 電四九六番

臺北市京町三
東陽製菓部
電話六四二番

基隆驛前
東陽物產商會
電話三六〇番

臺北市永樂町二ノ五四
大有物產株式會社
電話 [illegible]

臺灣料理
江山樓
臺北 電話一九五五番 二六三番

有限責任 **艋舺信用組合**
[illegible]

臺北驛前
臺北 ㊍ **運輸部**
電話四九四番

新起町
生そば **万月**
電話貳參七番

滙兌商
瑞裕行
臺北市太平町 [illegible]

特殊食鹽元賣捌人
柳井伊左衛門
臺北市 [illegible] 電話 [illegible]

マスターポマード
メヌマポマード
香粧品 全島配給元
十一屋商店
本店 臺北市新起町壹丁目
支店 高雄市湊町貳丁目
小賣部 臺北市西門町貳丁目

★看板とネオン
臺北市太平町二ノ七

靴鞋足袋卸商
臺北市太平町二ノ四九
勝芳商行
番有才

臺北市宮前町
日光商會
電話 [illegible]

貨物自動車運搬業
臺北運輸公司
臺北市永樂町一ノ五三 電話壹六五三番

酒分商
臺北市永樂町四丁目一番地
裕成公司
電話貳貳〇六番

茶商
臺北市新起町二ノ一五
富貴園
電話六七六番

株式會社 臺北
臺北市永樂町
永樂座
電話壹九五〇番

廢物ヨリ生レタル
古鐵ウエス商
二葉商店
臺北局私書函壹〇八
臺北市中 [illegible]

小野田セメント特約販賣
大分セメント
砂礫麥麩
肥料各種
雲榮商會
臺北市建成町一 電話參壹七貳番

裕民影片公司
代表者 鄭老桂
臺北市永樂町四ノ三八 電話貳六七九番

莊義芳商行
莊輝玉
臺北市永樂町四丁目 電話參壹七七番

臺北市太平町三丁目九十四番地
司法代書事務所
林文運
林紅嬰

コンパス號 ホドソン號 代理店
進輪自轉車本店
王初生
臺北市太平町二 電話壹四九〇五番
支店 京町二 電話貳五六九番

臺北市榮町壹丁目拾九番地
柏屋呉服店
有坂喜作

萬華貸座敷組合

萬華芳明館

臺灣製氷同業組合
臺北市上奎府町二ノ一

臺北市太平町四ノ一八
有限責任 **稻江信用組合**
電話二〇四八二番
[illegible]

恭賀新年
臺北茶商公會

謹賀新年
臺北市永樂町三丁目一四
乾元藥行
陳茂通
電話一〇六七番

臺北市下奎府町四ノ六
馥泉製氷株式會社
社長 邱 [illegible]
電話一八一〇番

美味王菓
桂花仙查
吉元藥行
陳有福
臺北市港町一丁目一五番地 電話二七七番 振替五〇五五番

臺北市北町委員一同

臺北市北方面委員一同

陳振能

捷裕參莊
元裕行
榮商行
張清港
太平町三丁目一〇八九

臺中州知事の"任期"を調べる

最短記錄は加福氏の六月

政黨華やかなりし頃、といつても一世紀も昔のはなしではないつい二三年前までは、植民地の地方長官ですら多少黨色を帶びない者は肩で風を切つては歩けなかつたものである

ところがどうだ！一發の銃聲が政友會總裁犬養毅のコメカミのあたりを貫くと、激しい颱風の政權タラヒ廻しに寧日なかつた政黨といふ政黨の息の音を、トタンに止めて了つたのである、殺されたのは犬養それ自身でなく政黨自身だつたのだ、そこで一切のいきさつはヌキにして、今度は官僚といふ奴がノサばり始めた、きのふ迄「俺は政友會だ」と威張してゐたそんぢよそこらの知事連が、もとの官僚に立ち歸つた、オレは竹下豐次君がそんな官僚であるかどうかはしらない、が、一束の消息通のヒソヒソ話によると、彼氏も亦嘗て黨色官吏であつたらしい、ところが、一發のパチンコが政黨の息の音を止めて、官僚に再生の機會を與へた、あるものは、パチンコの起り得べき情勢を、非常時といふ、その非常時が竹下君を、もとの官僚の古巣に還へらした、身分保障法といふ結構な法律まで出來た、「馘になら切つてみろ」である、政黨なんか、糞喰へだ

× ×

竹下君はかくの如き非常時情勢の下に於て去る昭和七年二月十五日臺中州知事に任命されてから恰もけふで滿二年九ヶ月十五日となる臺中州では前州以來の最高記錄であり、おそらく他州においても稀にみる現象でなければならぬ、而も竹下君に言はせるとこの現象は後二三年は續くらしいのである

由來、政黨内閣の下に於ては、地方長官の更迭の、あまりに頻ぱんなのが何よりも地方行政を禍ひするとの非難を買つたものである、少くとも地方行政の衝に當るものは三年くらゐ同一任地に居くべし——との要望が高かつたのである

ところが、竹下君はまさにこの要望を實現したのである、政黨排擊論者は欣喜拜舞して可なりであらう、而も竹下君の治績の跡は——教化委員會館といひ、東亞共榮協會といひ、よかれ惡しかれ、全島的反響を呼び起したのである、地方長官三年据置論者のなんとよき理論の裏書ではないか

× ×

そこで、官紀が振粛すればこの上もなき欣びであるが、好事魔多しで何も彼もさう甘くばかりはゆかないものといへ、遺憾ながら官紀の一點においては三年据置論者を裏切らざるを得なかつた

官紀といつても、瀆職事件のことでない、官吏の精神的弛緩である、これは何も竹下君だけの責任ではないかもしれない、泰平久しきに慣れば誰しも精神的緊張の缺くに至ることは、古今東西の歴史が證明する、具體的にかれこれ言ふことは控へるが、竹下知事治下の二年九ヶ月、泰平久しきに馴つたので、官僚の精神的緊張を缺いたことは多少州治に關心を有つものの等しく感ずるところでなければならぬ

× ×

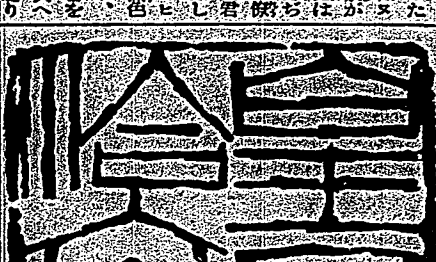
かく考へると、地方長官の任期の長短といふことは、善惡二様の意味でその地方の政治上、社會上少なからぬ關係を有つことが明である、では前州以來の臺中州知事の任期はどのくらひであつたか

初代加福豐次知事は人も知る豪快の士であるが、大正九年九月一日に任命されて翌十年二月一日で他に轉じ任期僅か六ヶ月、二代立川連氏は今に至つてあまり話題も殘さない程の平凡人、大正十年二月一日任命、十一年五月十五日免、十四ヶ月十五日で、三代常吉德壽君は竹下君がブチ毀した共榮會をつくつて記憶に殘る人、十一年五月十五日任命、十三年十二月二十五日免他に轉じ任期が二年七ヶ月十日、四代本山文平君十三年十二月二十五日任命、十五年十月十三日迄で約一年十ケ月、五代三浦碌郎君は十五年十月十三日任命、昭和二年七月二十七日までで八ヶ月十四日、六代佐藤續君は今まで惜がられてゐる豪傑だが不破事件の責任を負ひ任期僅か一年で昭和三年七月二十一日掛冠、七代生駒高常君は昭和三年七月二十一日任命、同四年七月九日まで……十一ヶ月十日、八代水越幸一君が同四年七月九日任命、運惡く霧社事件に責任を負はされた型で同六年一月二十日免これが約一年五ヶ月、九代太田吾一君は同六年一月廿日から同七年三月十五日迄約一年二ヶ月、十代が竹下君で既に二年九ヶ月——これから何年續くかわからないといふ運の良さである

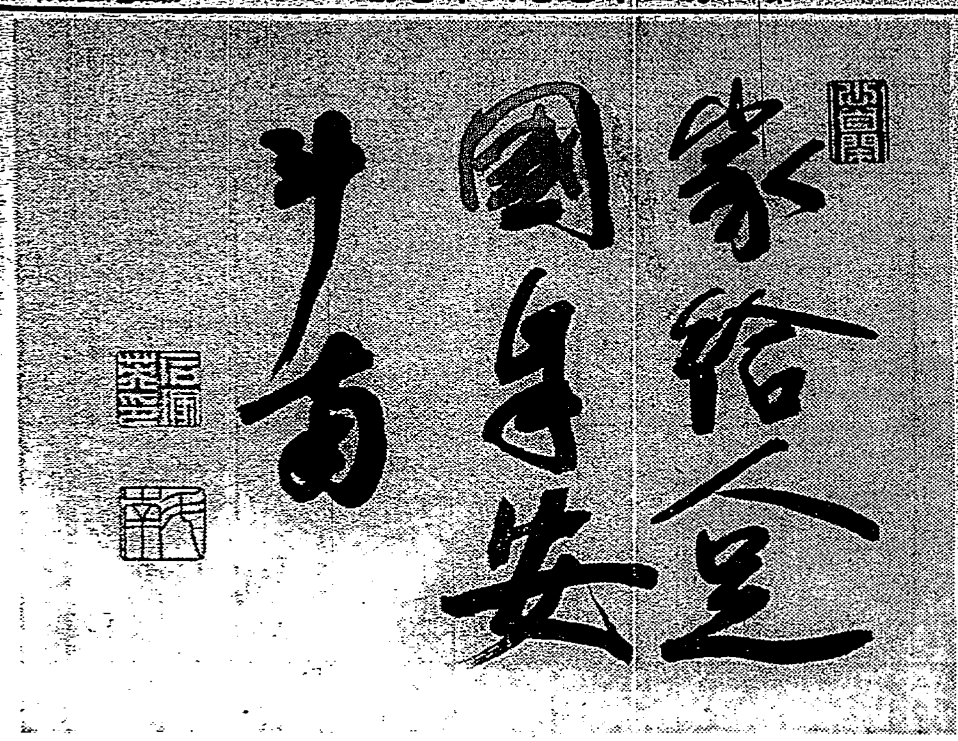
以上初代より十代までの最短記錄は加福君の六ヶ月であるが、常吉竹下兩君をのぞき多少のちがひはあつても一年そこそこで更迭されてゐることは不祥事件や思ひがけない突發事件にもよるが如何に更迭がヒンパンであつたかを想像することが出來やう

× ×

時恰も昭和十年の新春を迎へ、太平洋岸を繞む非常時の惡濤は、ひとり臺灣島のみに[illegible]の樂を許さない、おそらく非常時對策から言つても、地方長官更迭は當分みあるまい、然し三年小康、五年[illegible]



昭和乙亥元旦　石原幸謹篆



石塚元臺灣總督新年試筆

蕃社の國語化に熱心な川野さん

家庭は社衆の模範として稱讃と敬慕の的となる

花蓮港廳下の本島人やアミ族蕃人の中には一家族擧て國語を使用してゐるものが少なくなく、彼等の國語熱は日増しに旺盛になつて行き中には下手な内地人などは及びもつかぬ程流暢に國語を操るものもある、茲には野の白百合と咲いた名花一輪、亡夫の遺志を受け繼いで二兒の養育の傍ら立派に國語家庭を造り上げて近隣の模範と稱へられ、警察局から國語家庭として名譽の表彰された婦人を紹介しよう、それは誰あらう花蓮港街に程近い薄薄社の川野阿金（三二）さんである

◇

綠色濃い檳榔樹と椰子の影を宿す芭蕉の葉蔭淡き夢の郷土薄薄の蕃社に彼女はアミ族の娘さんとして呱々の聲を擧げた、公學校に通ふやうになつてからは特に國語に趣味を覺えるばかりでなく、内地人の生活や慣習に非常な執着と共鳴を感じ、たとひ身ははしたない一蕃人の娘ではあるが、日本國民の一人として立派な恥かしからぬ生活と思想の持主になりたいの念願止みがたく、學校では熱心に國語を習得し、内地人の生活に憧かれの眼を輝かしたのであつた

◇

花も恥らふ十八歳の時、花蓮港廳巡査川野武太郎氏と結婚した、新家庭を持つてからは彼女は永年の理想を實現すべく最善の努力を拂ひ先づ阿金と改名し生活樣式は全部内地式に改め、かくして幸福と憧憬の數年は夢のやうに過ぎて行つた、その間に長男春夫（八）次男政治（六）の二兒を擧げ一家は平和と希望への道程を辿つたが、圓らかであつた蜜月の夢は一朝に破れ天にも地にも唯一人の夫は昭和八年少壯有爲の身を以て遂に歸らぬ旅路へと急いだのであつた

◇

阿金さんの悲歎と失望は他の見る眼も氣の毒な位、一時に天地が覆へつたやうな心持ちであつた、併し彼女は暗黑の中に光明を、絶望の中に希望を掴んだ、そして猛然と振ひ起つた、家庭と蕃社の國語化！、これが亡夫の遺言であり且つ自分の使命であるのだ、さうした堅い決意の下に彼女は蕃社に踏み止まつて二兒の教養の傍ら蕃社の國語化へと邁進した、二人の子供は全く蕃語を知らないばかりか彼女自身も殆ど蕃語を使はず、純内地式の生活をなし一見内地人と見違へる程の堪能ぶり、蕃社の人たちはその熱心と立派な心掛けに感激して一日一日と國語を習ふものがふえて行つた、しかし阿金さんはこれに滿足することなく、ささやかな生活をしながらも、全蕃社の國語化を理想として二兒の養育のかたはら社衆に向つて國語の宣傳に日夜つとめ蕃社の模範家庭として稱讃と敬慕を一身に蒐めてゐる（寫眞は川野さん）

粟酒を造って蕃人のお正月

一家團らんのまどゐ

——蕃人に正月ありや——

これはちつと考へるとまことに莫迦莫迦しい疑問であるけれど、蕃人の生活と平素交渉の淺い——といふより交渉の全然無い吾等にとつて必然的に起る疑問ではないだらうか、ところである蕃通の話だが——僕もはつきりは解らぬ——さうである

——第一蕃人は暦が無いんですからね——

と云ふのである、暦日ところか暦日の基礎的條件である數の觀念が無いのだから——

で、正月にかい當するやうな儀式はないか、と訊ねると、小首をかしげてゐた蕃通氏——

さうですね、強ひて言へば年祭といふのがあります、ブヌン族の間ではミンカメシヤンと稱ふのですが、ブヌン族中でもタイヤルではヘメシヤンと謂つてゐます、いはば、一年の總決算であるところの粟收穫時に執行するお祭で、その月は粟酒をつくつて同族多數が集まつて一大饗宴が開かれるので——まア一年中で一番樂しい日でしやうな、然しそれといつても各社同一に執行するので無く、各部落毎にてンで思ひ思ひにやるくらゐのもので、吾等の正月にはかい當せぬかもしれぬ—といふのである

で結論としては

—僕もはつきり解らぬ—

といふことになるさうである

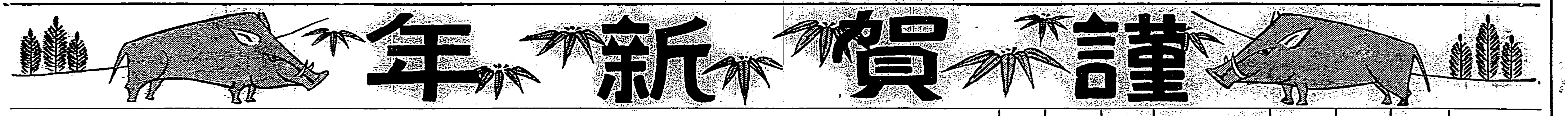
★ ★

但し以上は臺中州下の蕃人についてであるが、蕃人に年齢が無いといふことはその年齢の一つ一つに區切りをつけてなく正月が無いといふ證明にはならうと思ふ、然し翻つて考へると、一收穫一年とする彼等の素朴な原始的な暦日觀念の中には支那及び日本の曆數觀念の原始的型態を發見することが出來ないだらうか（K生）

初御空

水原秋櫻子

初御空天城の嶺に雪を見ず
追羽子のこだまに天城晴てり
初[illegible]や獅の[illegible]ひるがへり
[illegible]坊主あかるき山田に
かるたとる顔のこまかに燈影かた



基隆市協議會員（順序不同）

林準二
長濱實
古山昌雄
辰巳宗太郎
田中庄吉
地主三郎
竹田義治
田尻與八郎
大倉一良
土居靏雄
明比實平
松浦新平
吉原多三郎
横井鋼一
潘榮春
謝國器
林應時
何鵬
王塗盛
葉松濤
顏欽賢

基隆市 松本晄吉

基隆市 山之内小藤二

基隆阿片小賣組合 林[illegible] 何[illegible]

基隆市義重町壹ノ九 ニコ〳〵タクシー 電話四壹壹番 年始の御用は是非とも御願ひ申上ます

學校靴臺灣配給所 基隆市義重町三ノ二 ㊉新 日新堂 電話[illegible] 振替[illegible]

基隆總商會

㊉ 櫻井商會本店 基隆市元町[illegible] 電話[illegible]

皮膚科 小兒科 濟生醫院 基隆市元町三ノ角 日本醫學士 蔡星[illegible] 電話六五三番

千代田火災保險株式會社 千代田生命保險株式會社 基隆代理店 小間物化粧品雜貨 松原商店 松原廸三郎 基隆市義重町參丁目拾參 電話參貳七番 支店 同天神町九六 電話參五七番 振替口座[illegible]

土木建築請負業 黃石降 黃楊添火 黃智英 基隆市双葉町壹九 電話九五〇番

土木建築請負業 闇水柳工務所 基隆市福德町[illegible] 電話[illegible]

江源茂藥行 基隆市福德町貳ノ七八 江瑞英

保證責任 基隆住宅利用組合

石炭卸小賣 共和商行 基隆市福德町一ノ二四（電話六貳貳番）

基隆材木商組合

合資會社 永泰公司 林永祿（鹿） 基隆市旭町二ノ六二

基隆市 臺陽汽船商事株式會社

基隆郡双溪庄 石炭コークス業 魚行炭礦公司 代表者 川口乙助 電話双溪十二番ノ乙

基隆市[illegible]町三三 石炭採掘販賣運搬勞力請負 飯塚一男 電話貳八貳番

基隆宿屋業同組合員一同

神戶市浪花町 合資會社佐藤商店代理店 吉野爲吉商店 基隆市日新町二ノ六 電話五六六番

基隆市 顏窓吟

基隆市 濱崎定治

基隆市天神町 印山所 [illegible]山劍順

基隆市旭町三ノ三 石炭採掘請負及石炭販賣業 瑞成商行 林朝寶 呼出電話貳參〇番

基隆市 後藤俊郎

合資會社 山菱商會 基隆市幸町三ノ二五 電話九四貳番

新設 基隆市入船町一ノ一番地 基隆市社寮町二ノ八番地 川本工作所 電話八五五番

基隆郡瑞芳庄[illegible] 金[illegible]支店 林田程

基隆市 森常男

基隆市 福村光直

基隆市 小川德治

基隆市玉田町一ノ三七 賣藥 新藥 問屋 福德堂藥房 店主 福田仁三郎 基隆局私書函十四番 電話五〇五番 振替口座五五五番

基隆驛前 カフエーみどり 美給揃にて新年のサービス御目にかけます 電話六貳貳番

基隆驛前 カフエーみどり 新年は御目出とう御座います是非御立寄下さい 鈴子 照子 君子 千代子 露子 和子 百合子

カフエーウキヨ 新年は御目出とう、本年も可愛がつて頂戴 電話八貳八番 京子 初子 百合子 明美 幸子 みのる 美技

カフエー朗 ほがらか 新年は御目出とう御座います 本年も相變らず御ひいきに御願申上ます 直江 好子 浪子 琴子 美好 京子 文子 絞子

基隆市 カフエーライオン

臺灣料理 高砂樓 基隆市 電話貳參四番

基隆市日新町壹ノ參 自由亭 千代子 光子 末子

清酒
白鶴
ハクツル
白鶴一杯
元氣百倍

新莊街 小園江隆哉 電話拾貳番

翁裕美製飴所 臺北州新莊街[illegible]

宜蘭郡礁溪庄長 野口子之吉

宜蘭郡頭圍庄長 篠田之森

宜蘭郡員山庄長 高野五郎

臺灣倉庫株式會社苗栗出張所 主任 鄭家整

國際通運株式會社苗栗出張所 主任 片岡種敏

苗栗作業所 技術員 大西竹治

池田斌 苗栗

苗栗街協議會員 銅鑼食鹽元賣捌人 苗栗街方面委員 彭松壽

蘆竹庄役場職員一同

合興自動車商會 蔡阿合

桃園物産商會

桃園煉瓦株式會社

謹賀新年

臺中市
上瀧汎

臺中市
入佐藤次郎

臺中市
竹内重一

臺中市
田原哲次郎

臺中市
陳炘

臺中市
緒方瀧治

臺中市
中津德治

臺中市
岩瀬啓造

臺中州大屯郡大平庄頭汴坑
大寶農林部
臺灣出張所
電話臺中貳貳四番

臺中市若松町六丁目
中央製氷株式會社
電話一〇〇五番

霧峰郵便局長
前田薫

霧峰
林猶龍

大屯郡大平庄長
林垂拱

臺中市千歳町一ノ三
蔡先於法律事務所
電話一〇七五番

臺中州協議會員
二瓶源五
森部穎
宮原武熊
常見秀夫
安田稻實
田原哲次郎
中津德治
陳炘
黄朝清
野口生之助
甘德中
林竹松
賴雲祥
王燕翼
田路市郎治
陳棧治
津田尚正
楊春木
小林正之介
林伯餘
洪火煉
山下金二

臺中市醫會（いろは順）
允中醫院
博愛醫院
柏林醫院
東平醫院
東周（產婦人科）醫院
敦德醫院
中部肛門醫院
張眼科醫院
澄清外科醫院
林水源醫院
同春醫院
陽春醫院
臺中西漢醫院
體仁醫院
王内科醫院
柳川醫院
吳（耳鼻咽喉）科醫院
鄭外科醫院
杏林堂醫院
安生醫院
枝水醫院
清信（婦人）科醫院

臺中
竹下豐次

臺中市
平輝雄

臺中市
曾根原弘

臺中市
坂本素魯哉

臺中市
照山昇

臺中市
川島清

臺中市
今井昌治

臺中市
石井善次

臺中市
田邊誠一郎

臺中市寶町四丁目
川崎てる

臺中州大屯郡
西屯庄長　張進木
西屯助役　廖進儀
會計役　廖德照

大屯郡南屯庄
賴錦泉
自宅電話二八六番

臺中市大正町五丁目　服部醫院
臺中市寶町一丁目　安田醫院
臺中市大正町三丁目　森部醫院
臺中市榮町三丁目　林醫院

東京帝國大學農學部附屬
臺灣演習林職員一同

臺中市
小鹽三治

臺中市
前田八十松

臺中市
長岡寛

臺中市
常見秀夫

臺中市
津島吉兵衛

草屯庄
洪清江
李峯竹

貸自動車
活版印刷
德文社
南投 電話[illegible]番

草屯
王松根

臺中市
中村秀穗

臺中市柳町二丁目五番地
辯護士 法學士
渡部彌億

臺中市寶町[illegible]
折田（齒科）醫院
電話一、〇五三番

臺中市
新彬醫院

大屯郡北屯庄役場
林傳旺
島内珪次
賴振路

臺中州大屯郡北屯庄
林懋陽

南投街
木村醫院
電話一七番

臺灣芭蕉
相橘其他
物產賣買
及委託販賣
臺灣臺中市寶町五丁目四五
朝陽公司
支店＝上海、厦門、香港
出張所＝臺北、基隆
電話五番
電略テウヨウ（CHOYO）
振替口座臺北九六九九番

南投郡草屯庄草屯
保證責任
草屯信用販賣購買利用組合

草屯庄
黄春帆

南投郡中寮庄
橋本啓之助

南投街
古本實

臺南州協議會員

栗山新造
越智寅一
佐藤覺一
佐藤三之助
和田二三松
筒井清良
芝沼榮作
田邊虎三郎
辛西准
石秀芳
吳森玉

臺灣煙草賣捌人組合
臺中支部員一同

臺中市壽町一丁目二番地
臺中土木建築請負業組合
電話六一七番

謹賀新年
大甲郡役所

滿富俊美
鳥羽象三
寺尾德右衛門
郡役所職員一同

清水街役場
楮松燉
蔡珍曜
李清奇

梧棲街役場
楊水河
照沼善三郎
林廷錫

大甲街役場
柴田一平
鄭進丁
江頭潔

外埔庄役場
杜傳明
李臻賢

大安庄役場
李晨鐘
黄青年

沙鹿庄役場
田村勉
林貢
陳曾

龍井庄役場
劉泉源
陳壬申

大肚庄役場
黄朝應
馬場儀次郎
楊塗生

街庄役場職員一同

臺灣銀行南投支店
岸八郎

南投街
朝倉哲雄

南投郡南投街南投四番地
保證責任
南投信用販賣購買利用組合
組合役職員一同

株式期米
碧林商行
南投郡草屯街
電話參八番

臺南
臺南人力車組合
組合長　吳貴
組合員一同

臺南市高砂町二丁目八八番地
麟記商行
黄必麟

臺南市西門町五丁目
陸内科醫院
陸清江
電話一〇九九番

臺南市方面委員
林叔垣

MS
明治製糖株式會社

新築落成
臺南市田町
劇場兼映畫館
戎館
電話[illegible]

臺南西市場内
臺南善麟組合
電話二七二番

洋品雜貨
帽子洋傘
石鹸化粧品
婦人小間物
男女呉服
敷物毛布
臺南銀座
あわや小賣部
電話[illegible]七六番

臺南市大宮町二丁目
阿波屋商行卸部
電話貳六貳番

永義和商行
臺南市永樂町三丁目六七番地
電話八七九番
蔡洛
織物工場
臺南市田町四八番地
同入船町二ノ二三六

臺南市西門町二丁目一六二
東京市淺草區中延町八八三
吳溪濤

德昌呉服店
臺南市本町四丁目百五拾貳番地
余炎勳

臺南市本町四丁目
和洋雜貨商
義和鴻記

信用本位
取引迅速
凱南商會
公債株式期米現物問屋
代表者　林
臺南市西門町三ノ七一
電話七八番

株式公債
期米賣買
臺南市本町四丁目
德泰商行
電話四八番

臺灣總督府評議員
黄欣
電話五一〇番

臺灣總督府評議員
陳鴻鳴
電話參壹六番

臺中市
臺灣青果株式會社

臺中市柳町
臺中州青果同業組合

臺中市綠川町一丁目
臺灣青果同業組合聯合會
電話
一、八三四番
八五一番
九六八番
一四〇番

胃腸榮養

わかもと（錠劑）

賀正

昭和十年元日

御正月の
常備藥に
食過ぎ　食傷
悪酔　二日酔
胃腸カタル　消
化不良　便秘
胃酸過多症

藥價低廉　三百錠　一圓六十錢

發賣元　榮養と育兒の會

待望の大野球戰
けふ鐵と初試合
二日早大軍は球場に現れたが
降雨のため惜くも中止

元日豫定の一戰、早大對鐵團第一回野球戰は朝來の降雨のため取止めとなつて二日の早大對ＯＢ第一回戰を迎へた此日早朝は曇雲も切れて雲間に青空を仰ぎ見たので早大選手も勇躍起床、正午旅館を出發圓山球場に向ひ早くもスタンドに陣取つた早大校友應援團はじめファンの拍手に迎へられて入場ＯＢ軍選手も球場入、兩軍は打撃の練習をはじめたが折柄再び雨の降る所となり遂に試合續行は不可能となつたため取止め、愈々けふ三日午後一時半からは繰延へとなつてゐた早大對鐵團第一回戰を行ふ事となつた各團のベンチは

早大　三壘側
鐵團　一壘側

審判員　球審＝飯島氏、壘審＝一壘大森氏、二壘山口氏、三壘井野氏

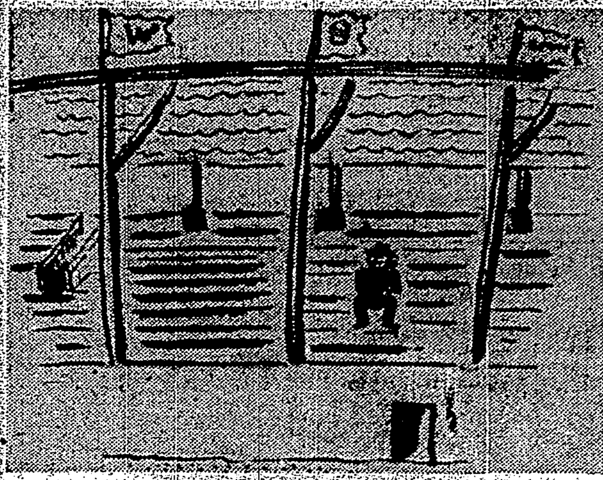
入場券は有效

二日の早大對ＯＢ野球第一回戰が取止めとなつたため同日御入場の各位は入口に於て入場券を求められた方はその半片を以て、前賣入場券所持の方はそのサイン附の半片を以て今後のいづれの試合でも隨時御入場下さい

天候は先づ大丈夫
觀測所のお診

元旦が雨といふ記錄は近年稀らしい事で東京初め雨の所が多かつたが、三日の天候について臺北觀測所では曰く「二日はアジンコート一帶が雨で從つて北部も天氣になる模様はありませんでしたが、三日の午後は大體好くなるものと思はれます、アジンコート北方と兩州との間に低氣壓が發生してゐるので其作用等もあり三日の午後は大體好くなるでせう、大體モツと空氣が乾燥し乾くならぬといけませんが、斯ういふ變調氣分は案外のみではない様です」

憎らしいこの雨
球場につめかけたのにとガッカリ
雨のスタンド漫景


漫畫は雨のスタンド

測候所の失策ではないけれど今日も天氣がカーブしてショボ／＼と雨、でも圓山野球場は御熱心なファン諸君で八分入、ピタ／＼と雨に濡れたエビ茶のＷ旗、本社旗、何時晴れるともわからない空行よ

ダイヤモンドにオガクズを撒いて石油を燃やしてゐるが……スタンドに頑張つたファン諸君、空をみつめて腐つて御座る

「おい晴れさうだよ」

「さうだな」

「實際いやになるよ」

歡聲と不滿のコーラスがあつちこつちに爆竹のやうにポン／＼

一壘側の早大軍のベンチ選手君は腕をくんだりほどいたり氣の抜けたサイダーの様な顔で矢張り空を眺めつこ、山本部長さんも後へ手を廻して同じ様に空をみてゐるが天氣だけはコーチ出來ないらしい

○　○

奇しくも此處に空にらみオンパレードの一幕が初まつた

サウンドトラックから悲壯なる聲で「今日は殘念ながら試合を中止します」

スタンドのファン諸君はガヤ／＼とざわめきわたる

「やれ／＼」

「面白くもねえ」

「やめるなよー」

氣の荒い熱心なファンの聲、さすがに今年は亥の年です、だが仕方がないです

選手諸君もソロ／＼スロモで引揚げて行く、殘つた三四人の選手君腹いせではないがキャッチボール五六合やる、ファン諸君もどうせ來たからにはとスタンドにスタンドして見てゐる、

やがて選手諸君スタコラと濡れたバットをかかへて消へ去る

「おい天氣はどうも綺麗に遊びやつて駄目だなア」

「駄洒落を云ふナ」

「もし／＼天氣はよくなりましたぜ、試合出來ますよ」と一人のファン君に話しかけらる

「さうですかね」

だがです、スタンドには犬子一匹もゐませんでした、よくもまあ最後までネバつてゐたファン君です、實に末たのもしいファン君です、感謝します

○　○

「明日天氣になあれ」

テル／＼坊主様に願かけて、天氣になれば御禮に毛を一本位進上してもよいです

何にも浮かない、スコーアブックに何もなかつたグラウンド、淋しいですなア

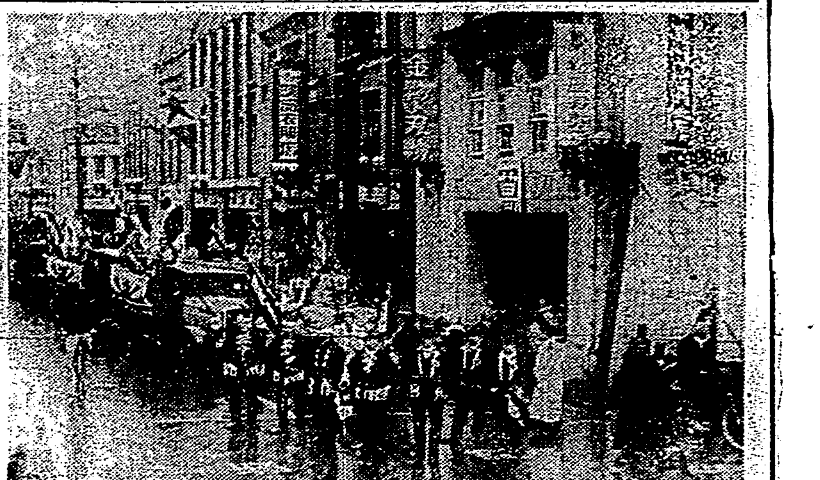
それはファンのみが知る心境です

本社の新春開運福引
十五歲のお孃さんが
特等の簞笥に當籤
山のやな景品もすつかり飛んで
午後三時目出度く終る

恒例による本社の新春開運福引は午前十時から抽籤を開始されたが午前八時頃から昭和十年劈頭のこの開運福引を目ざす人々の群が續々とつめかけ抽籤開始時刻には列を爲した人々が本社前から公會堂南部を廻り果ては敬道路を經て榮町派出所まで續く文字通り長蛇の列、幸運者に微笑みかける如く特等の簞笥一等の大理石置時計二等の米俵以下山なす商品がうず高く積まれてゐる中に長谷支配人外社員一同は抽籤の準備に忙殺された、愈々抽籤開始と共になだれる人々は一年の運命を占ふように一寸眞劍な調子で福引券を開いて行く、十時十分旭小學校一年生の千歲町三の一石神香さんが三等で幸運の米俵を引き當勇ましい樂の音に群衆は高く活氣付けば蓬萊小學校三年生の下奎府町二の七宮下龍一君が二等を頂いて永樂町四の三一陳達發君が二等を當て嬉しさうな笑顔で人力車に米俵をつんで街に去つて行つた後は三、四、五等がそれ／＼朗かな新春氣分を抽籤場附近にばらまき十一時十五分一中の三年生千歲町三の一山下秀夫君（一七）が一等賞を當て幸福な昭和十年のスタートを先づ美事な大理石置時計と並んで寫眞班のレンズにをさまり記念撮影のやうに意氣揚々と引揚げた、既に午前中に一等二等が出揃ひ特等丈が目ざされたが午後一時十分遂にその可愛らしいお孃さんが特等を引當て割れる様な拍の音と特等／＼と呼ぶ威勢の良い聲と萬場の注視の中に恥かしさうな微笑を浮かべながら簞笥と並んで寫眞班のレンズ

祭粢料御下賜

【東京三十一日發】畏き邊りではオランダで客死した故安達峰一郎博士生前の功勞を思召され特に祭粢料を御下賜遊ばされることとなり三十一日廣田外相を通じ遺族に御沙汰があつた



一齊に出動
臺北の初荷
景氣來て大盛況

臺北市内の會社、商店では恒例により二日早朝から華々しく初荷を繰出したが本春は待越された農村景氣が新正月を迎へ地方購買力を刺戟するものと問屋筋の意氣込みも旺んな爲め非常に活氣を呈した、六神の新高製菓は午前七時半から樂隊付自動車三臺を先頭に貨物自動車十數臺にバナナ・キャラメルを滿載して古亭町一帶を出發、藤田商店は八時頃甲父、ヤマサ、ノー・ビール、どりこの等をトラック十二臺に滿載して市内各取引先へ初荷出をなしその他森永製品販賣會社、東光株式會社、神木洋行、或は十一屋化粧品部のウテナ、ヤマニ、ホーサン石鹼の石川化粧品部の初荷、專賣局はオートバイ八臺、自動車二十餘臺に酒、煙草、鹽等を滿載、それ／＼市内を廻りいやが上にも臺北市内に新春の氣を横溢せしめた

（寫眞は專賣局の初荷）

お寺が一等

【基隆電話】基隆に於ける恒例の本社開運福引の日、二日は朝來雨模樣なりしも定刻本社支局前に集る愛讀者列をなして時を待つといふ賑はひである定刻十分前に扉を開き續いで二等二枚が飛出し景氣を添へたが特等は遂に最後迄出なかつた

一等　義重町慶光寺
二等　明治町淺水館、堀川町菓新本
三等　元町連行山霽町大西市太郎、眞砂町濱澤俊雄

德重夫人
特等に當籤
高雄支局の福引

【高雄電話】本社高雄取次店の新年開運福引は市内湊町取次店之忠一氏方にて二日午前十時より擧行定刻前より愛讀者殺到し大盛況を呈したが午後一時市内入船町一高雄州地方課地理係長德重孫吉氏夫人しづゑさんが特等大理石置時計を引當て歡聲を浴びつつカメラに納まりその他本商細物迄の當籤者は次の如くであつた

三等　榮町田坂寫眞館
四等　湊町吉田孝、入船町野村慶助、山下町谷宗三郎、湊町右田吉人、錦町梅田爲則

臺中

【臺中電話】恒例の本社臺中支局の本紙愛讀者開運福引は二日午前十時より開始されたが特等一、二等の幸運者は左の如くである

特等　千城町　石榮興

一等　木下町　小池義
二等　榮町　清水雜貨店
二等　寶町　木田洋品店

臺南の福引

【臺南電話】本社臺南支局では二日午前十時から讀者福引抽籤を支局内で行つたが開場と同時に多數愛讀者達は新春の運試しに心を躍らして來場特等から六等迄空籤なしで三時迄に全部を終つたが二等迄當籤の好運者は左の通りである

特等　清水町日の丸館
一等　西門町清水五郎
一等　壽町湯川弦、新町湯淺一作
二等　開山町我有秀子、花園町菓作場、旭町商工官舍重冨茂多、本町城岡全、本町茂森藥店

嘉義

【嘉義電話】嘉義本社取次店愛讀者開運福引は二日午前十時早朝より押しかけて待ち構へた多數愛讀者の期待の裡に開始したが新春の好運者は左の如くである

特等　市内西門町二李鵠玉
二等　吳金釐、賴廷福
三等　劉南、野村常次郎、森文四郎

尚一等は遂に出ず賞品米は社會事業に寄附する事となつた

中壢

【中壢電話】中壢街に於ける本紙愛讀者開運福引抽籤は雨天の二日、午前十時より中壢取次店新住氏方にて行はれたが非常な盛況を呈し特等の好運者は中壢小學校の小島君の得る所となつた

瑞芳の福引

【基隆電話】瑞芳に於ける本紙愛讀者優待開運福引は二日午前十時より取次店に於て宮川庄長、日下警部補その他關係者立會の下で行つたが當籤番號は左の通りである

一等二二六△二等〔二本〕六、二二三△三等〔二本〕三六、八九、三〇一△四等〔四本〕八五、一六二二、二六、三一八

尚五等以下空くじなし、當籤者は至急引換へられたい

臺灣神社の
初詣で
一萬餘に上る

臺灣神社の初詣では除夜の鐘を合圖に小雨降る中を臺北から徒歩で詣でる者或はバス、ハイヤーを利用する者等勅使街道は時と共に往來繁く平塚長官、堀田交通局總長各局長、野口州知事民間側より三好、小松その他諸氏の顔も見え一日中の參拜者は雨にも拘らず一萬餘を算し二日も早朝から元旦に劣らぬ參拜者があつた

熊本醫科大學の
附屬病院が大火
元旦の夜で警戒手薄のため
本館全部烏有に歸す

【熊本二日發】昭和十年の新春を迎へた元旦の夜八時二十分熊本市本庄町熊本醫科大學附屬病院本館東北隅より失火し火は見る／＼レントゲン室婦人科病室に移り折悪しく元旦のことで警戒手薄の爲め火の廻り早く火勢猛烈を極め急報に接した各消防隊並に軍隊は逸早く出動し消火に努めた結果、同十時三十分に至り本館全部烏有に歸し辛くも鎭火した、一方出火と同時に入院患者四百餘名を收容する各病室は阿鼻叫喚の巷と化し大混亂を呈したが、直ちに患者を醫科グラウンドに收容し鎭火と同時に市内の各病院に收容した、目下の所は負傷者無き模様で原因は目下取調べ中である

十數臺に滿載し朝來音樂隊を先頭に全市を景氣よく練廻つた、尚商船出帆春丸は米糖合計四千五百噸、辰馬汽船宮島丸も米糖六千噸の初荷を積取り夫々内地に向け高雄を出帆した

全島庭球大會（單）
員林柳金木君優勝

【嘉義電話】第十一回全島軟式庭球選手權大會は全島各地より遠來の選手百餘名參加出場の下に二日午前九時嘉義市コートにて前年優勝者柳金木（臺北）より優勝杯返還會長川添氏の挨拶を述べ競技審判長より競技上の注意ありて午前九時半曇天和風のコンヂションでシングルスより開始成績左の如く前年同様柳金木が優勝し午後二時半終了直に複試合に入つた複試合は二日中に四回戰迄を終り三日午前中全部終了の豫定である

單試合

第三回戰

柳金木　四－三　許大森
張煌武　三－一　施有信
石田　三－〇　有馬
張如軒　三－〇　陳炳耀

準決勝戰

柳金木　四－三　張煌武
張如軒　三－〇　石田（嘉義）

決勝戰

柳金木　四－一　張如軒

組合せ決定
けふから開戰

【嘉義電話】三、四日兩日嘉義公學校グラウンドで行はれる全島中等學校選拔野球戰番組は二日嘉義支部野球部で抽籤の結果左の通り決定した

三日午前十一時　臺中二中－嘉農
四日午後一時　臺北商業－臺南一中

浦風電信長
墜落して溺死

【南京一日發電通】南京碇泊中の軍艦浦風電信長二等兵曹根本茂七は三十一日午後十時四十分誤つて艦上より揚子江に墜落したので直ちに搜査に努めたが一日午後四時四十分死體となつて發見された

新春の第一船
蓬萊丸が初入港
船客一同和かに海上で迎春し
一日午後一時半岸壁着

【基隆電話】昭和十年初頭入港の第一船として蓬萊丸は船樂よりあがりの新裝で萬國旗を施し午後一時半愛定を縮め蓬萊の港内に入り同一時半岸壁に着いた、新春の客を迎ふべき船客は常より稀少とは謂へ合計百六十七名、内主なるものは海軍大佐戶塚道太郎、國水電事業局長黑田秀博、帝國製糖重役伊藤清吉、日本大學教授圓谷弘博士の諸氏で恒例に依る海上の迎春は極めて眞共に和やかに晴やかに行はれた

圓谷博士談

今迄外國を巡つて來たものの臺灣を知らぬといふのはいけない事で茲に個人の政策上から見る段功をたたえられて居る臺灣を知らねばならぬと思つてやつて來ました、昨年は滿洲を一廻りしましたが今年は臺灣の全般に亘り殊に農業移民の關係を見たい希望である外に本校校友は全島内全般に亘り三四百にも達するでせうが今迄校友部がまだ來た事がないのです、それでその狀況も詳しく調査する事も眼目となつて居ます、最近滿洲事情は別としても臺灣は高文官方面農民の仲繼地として臺灣を見ねば臺灣を論ずるに足らぬといふ論が内地で盛んとなりました故に軍部の關係は之等に重きを置くものと見られますが私共はそれ等の見地から内地人と支那人、本島人の民族的關係はどうなつて居るか、產業的關係はどうかといふ點も視察があればよく調べたいと存じます

黑田鹽糖重役談

總會へ出席して參りました、滿洲の砂糖企業は統制經濟の關係から滿洲國で統一してやる原則上此の程同國政府から百丁省陸賓省への照會があつた筈ですがそれに拓務省が參加して協議し成案を得た上臺灣糖業聯合會へ呼びかけるといふ順序になつて居ります、糖業聯合會としても勿論之に對する準備が出來て居る筈です

正五位を追賜

【東京三十一日發】畏き邊りでは故高木正年氏生前の功勞を思召され三十一日同氏に對し正五位を追賜せらるる旨御沙汰があつた

高雄の初荷

【高雄電話】高雄の初荷は二日市内の專賣局出張所の推酒起智商店を始め各商店の雜貨等をトラック

父庄次郎儀兼而郷里鹿兒島縣揖宿町に於て病氣療養中の處藥石無效本日午後三時死去仕候此段辱知諸彥に謹告仕候
追而葬儀は一月一日郷里に於て相營可申候
一月二日
嗣子　高田三郎

招聘　[illegible]

〈萬なかだち〉
[illegible]

謹賀新年

謹賀新年
年略儀本紙上を以て新年の御挨拶申上候
老軀愈々甚數平素御疎遠の段平に御海容被下度茲に併て御詫申上候　敬具
乙亥新春　於東京
赤石定藏

三毛菊次郎
金瓜石

臺灣製鹽株式會社
社長　堀三太郎
臺南

大津山周造
臺南

謹賀新年
本年も相變らず御愛顧の程奉願上候
尚昨年中は非常なる多忙を極め是れ偏に皆様方の御同情の賜と奉深謝候混雜の折柄とて不行屆の點も多々有之やと心配仕候間乍失禮紙上を以て此段御詫旁々御祝ひ申上候
臺北市本町三丁目
生蕃樟腦代理店
コマドリ食料品店
金崎末吉
電話　四參貳壹七　四四八四番

御履物
洋雜貨
臺北市榮町三丁目
㋣藤澤本店
電話四五〇番・振替五〇〇番
支店　西門市場

實用新案
カタログ進呈
岩岡式ギムネ
總代理店　共益社

臺北市榮町四丁目八番地
玩具商　アサヒヤ玩具店
電話　八六四番

東京ネオン
透光Ｂサイン
共進商會
臺北市榮町
電話

古亭町
スミレアパート
電話二九二六番

實直親切本位の
伊東葬儀部
臺北市壽町二の一
電話　一八六八番

基隆市
增田乙吉

謹賀新年
新竹市北門九八
新泰春吳服店

桃園郡有限責任八塊信用購買販賣利用組合
組合長　葉泉清

合資會社
陳合發商行
桃園郡桃園

高雄海員友信會

親鸞聖人 (86)

吉川英治作
山村耕花畫

登岳篇

大衆(七)

「知らぬ事はあるまい。云はなければ、ここを通すわけには行かん」

と、妙光房は、くどいのである。立ちはだかつて、性善坊を責めてゐた。

すると、その坂道を、降りて来た一人の衆徒が、

「やあ、妙光房」

と、聲をかけた。

「おお、朱王房か」

「何してゐるのだ」

「何、今ここで、範宴少納言の弟子といふ性善坊に出會つたから、例の事を、糺してゐるところだ」

「あの問題か。さりとは、貴公の方が、よほど迂闊だぞ」

「どうして」

「たつた今、山の諸院と各房へ、廻して、中堂から、觸れ状がまはつた。──今、それを見てきたが、この月二十八日に、少納言授戒入壇の式を執り行ふによつて、その節、心得ありたしとある」

「ふーむ」

と、妙光房は、うなつて、

「さては、愈々、事實なのか。座主には、宗祖の大法を枉げても、我意と私情を押し通さうといふお心とみえる。──だが、山には山の則がある。よしや、座主はゆるされても、則がゆるさぬ。弥陀如来がゆるし給ふまい」

と、妙光房は、口から泡をとばして、罵つた。

そして、性善坊へ、

「やい、新發意」

「はお」

「はあぢやない。中堂の衙房へ廻つたら、貴様の師の少納言へ、きつと、申しつたへて措け」

「……」

「まだ女の香からも持たぬ乳臭兒の分際で、宗規を紊し、昌許がましく授戒などを受けると、この叡山の中に、ただは措かぬぞと」

朱王房も、彼のことばの後について、

「──授戒の場を去らず、童の首をひきぬいて、千年杉の木の股に梟首し、鴉に眼だまをほじらせるぞと告げるがいい」

と、睨めつけて、肩をそびやかして、立ち去つた。

(うぬ!)

と性善坊は、後に立つて、聲がみそした。追ひかけて行つて、谷間へ、一投げにしてやりたいやうな激情が、腮を顫くさせたが、中堂から鳴る鐘の音を聞いて、

「ああ、遅くなつた」

と、恐れかかる道をいそいだ。

「修業だ、何事も修業だ」こんなことに、心をうごかされて何うするか。──範宴さまが、案じておいでになるだらう」

後を見まいとするやうに、登つて行く。

中堂のあたりには、夕べの灯がついてゐた。もう、僧正の勤行も終つた時刻である。

使の返書を、執務の僧にわたして、性善坊は、宿房の方へ、曲がつて行つた。

範宴が佇んでゐた。

「遅かつたか」

「只今もどりました」

「おそかつたなう」

「ちと、道に迷ひましたので」

性善坊は、途中の出来事を語さなかつた。範宴に云へば、範宴は師の僧正の累をおそれて、きつと入壇を拒むであらう。

(だが、困つたものだ)

と、彼は一人で案じてゐた。叡の山も、なか／＼うるさい。嗜慾、嫉妬、家柄、派閥、人間のあらゆる惡臭はここにもある。

新年交禮會

官民千五百名出席

中川總督發音三唱萬歳

臺北市主催新年交禮會。既如所報。元旦午前十時十分。開於鐵道大旅館大廣間。中川總督。寺內軍司令官。以下文武官民。凡千五百名。禮裝出席。一同位定。樂爾助役。登壇述開會辭。國歌々畢。松岡市尹。朗讀年頭之辭。其內容充實。即自世界大勢。說到本邦事情。以及本島狀況。如改隸四十年。地方制度改正。博覽會開設。日月潭工事竣成。其他以期打開非常時局。小大無遺。希望市民一同奮鬪。讀畢。筵開。屠蘇飲後。中川總督。舉杯發辭。三唱天皇萬歳。一同和之。同十時四十分閉會云。

本社抽籤

異常雜沓

本社。照恒例之新春開運抽籤。如所豫報。於二日午前十時舉行。市內諸讀者。早自午前八時。蝟集社前。踵接至公會堂。折入南署。延長至壽派出所前。蜿蜒若長蛇。而特等之洋服厨。一等之大理石時計。二等之米俵等景品。雖列如山。本社係員。忙于準備。迄定刻。順席入場抽籤。十時十分。二等籤爲旭小學校一年生千歲町三丁目一番地石神香孃(九歲)抽去。未幾。復出一枚。爲永樂町四丁目三十二番地陳連發君(年二十二)所得。呼人力車載米使。喜氣揚々而去。既而有下奎府町三丁目七番地建成小學校學生宮下龍二君。亦抽得一枚。迨十一時十五分。鈴聲大振。一等籤跳出。福運兒。爲千歲町三丁目二番地山下秀天君。年十七。唯特等籤。至過午尚未發見。及午後一時二十分。始發現爲北門町十六番地渡邊登去子孃。(年十五)所得。至午急由係員拍照記念。後二時。告畢。

臺灣美術聯盟發會

四月間展覽會

臺灣美術聯盟發會式。去二十日午後二時半。於鐵道旅館大食堂。同聯盟係臺展中堅作家松崎亞族氏。凡數月間。奔走唱設者。網羅全島美術家六十五名。分稽畫部。造型美術部。彫塑部。文藝部。各部發表總合研究或開展覽會。而文藝部。乘機由個面活動。是日在北創立委員。及來賓大每之喜多壯一郎氏。臺陽美術員立石鐵臣。諸氏出席。定刻讀聯盟主旨。及宣誓。松崎氏敘禮。喜多。立石諸氏述祝。並激勵。同三時半閉式。又同聯盟決定四月上旬。在臺北開第一回定期展覽會云。

對岸近況

地理丸情報

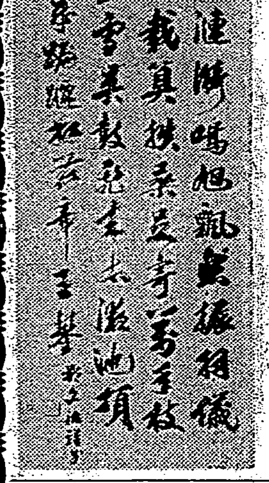
商船地理丸。二十日未明抵高雄。船客廈門領事館警察署長小川要之助氏。南國公司廈門支店長高增治三郎氏外百七十名。而前頃被汕頭稅關捕拿之高雄市湊町二公成商行經理砂糖運搬船振興丸乘組員一部七名。亦同時歸臺。據小川氏所談。此次因接外務省急電歸朝。要務不明。或命轉任。亦未可知。厦門近來極平穩。中央政府排日貨令旨。現尚未見具體的發展。公安局長王固磐氏。以自己意見不行殊惜不滿。而往上海。自是後任者未定。厦門亦有提倡派遣臺灣考察團。爲公安局長缺員。暫時難望實現。臺僑時起無爲問題。殊難措置。然已漸入眞摯生活。頗屬可喜云云。又據高增氏所談。本年中南國公司經理勞働者。一萬餘人。比昨年增加約四千名。然在督府方針。恐華人勞働者。脅威及本島人于銓衡上。要大苦心。對岸各地。銀行盛立。皆發行紙幣。重以銀貨流出。紙票發行保證準備金不足。遂疑紙幣價值。此次中央實業銀行。突起澇票。金融界極度不安。經濟界消沉。排日貨雖再見宣傳。然爲政策的。未可深信也之云。

北斗街西北斗 余德煌氏畫

昨年末臺銀發行額

由最高收縮二百萬圓

臺銀發行額。昨年十二月。呈未曾有膨脹。二十一日。達六千七百十五萬圓。爲最高記錄。其後因米爲替資金入金。商家資出預金內地送金等。臺銀券。亦漸次收還。去二十九日現在。六千四百五十八萬七千餘圓。由最高收縮二百五十七萬圓。較大昨年同日。增加一千四百十萬圓。收還率意外緩慢。同日現在。保證發行額。達四千七十六萬七千圓。較大昨年同期。增加千四百十萬圓。限外發行額二千七十六萬七千餘圓。對限外發行認可限度二千六百萬圓。有五百二十三萬二千圓餘力。除夕之日。入金多于支出。發行額更收還百五六十萬圓。結局六千三百萬圓。挨入同年。若以之比較大昨年末。膨脹有千四百萬圓云。



臺北市大橋町 鄭文治氏書

通常議會料必解散

政友會內部複雜

東京二日電。貴族院各派間。鑑於政局情勢。今回通常議會。於適當時期。料必解散。然一方政友會內部情勢。誠爲複雜。鈴木總裁系主流幹部。雖欲突貫政府。到底其不能統制。結局政友會於臨時議會。對政府爆擊之一億八千萬圓災害救濟追加豫算問題。因計上一千萬圓或二千萬圓之追加。而承認之。舊政友系指導精神。全面的軟化。或出解散回避態度。若政友會軟化時。當然議會解散得回避。政友會若如此一致態度。則鈴木總裁系幹部。當以强硬方針。牽制黨全部。山本條太郎。望月圭介。前田米藏。中島知久平氏等幹部。必如是努力。是時有非常苦心。反政府的空氣。與政府支持空氣。此處兩面勢力抗爭排擊。結局其統制難結果。必使議會不得不解散。一方政府。於政友會此現狀。若巧行操縱策。同非不能使解散回避。然政友會若永久內紛暴露醜態。則不堪靜觀。政黨淨化政界陰鬱空氣一掃意味。政府選適當時期或斷行解散。萬一議會解散。今回解散。於從來政黨內閣下。非政權獲得目標之議會解散。乃爲使政黨反省。並使現下非常時下國論統一其總選舉。必極公明最正

訪參事官

傳達認證謄本

倫敦三十一日電。倫敦駐在美國大使館一等書記官戎逸氏三十一日正午。照本國政府訓電。到英國外務省。訪禮義參事官齋藤駐美大使傳達二十九日面交哈爾美國務長官之日本政府華盛頓條約廢止通告文認證謄本。同條約。以千九百三十六年末失效。正式通告。右通告之傳達對法國。意國兩政府。附言同時刻行之。

貴州省內共產軍

將迫鑪山勢如破竹

香港三十一日發電。貴州省內朱德毛澤東等共匪。乘貴州軍弱氣。到處以破竹之勢。陷鎭遠黃平。各要地。一舉將迫鑪山。貴州軍亦捨重安防禦線。待廣西軍救援。白崇禧連日發行强行軍。先頭部隊目下已到麻哈附近。廣東軍欲先救援一個師。急行該地。貴州省共匪侵入防止。唯恃廣西東兩軍實力。共匪向首都貴陽。意氣甚軒昂。通過息烽仁懷。入四川省。貴川省心臟部。或被共匪蹂躙。甚重大觀云。

客固無理

店主更覺橫逆

大甲郡大甲街世界樓料理店。去二十八日午後十時頃。來二嫖客。強欲與妓女薦枕。被當樓亭李店主拒絕。隨起口角。一嫖客見勢不妙。逃走。一嫖客被李店主與當店打手。庄尾庄不良少年葉金標等毆得重傷。勸解不聽。反欲與勸解者對敵。後來勸解者。乃以電話。通知於大甲分室當局援報。花島部長外一名警官。急到現場。捕李店主。嚴重戒飭。金標一見警官來到。即逃之夭々。現搜査中。翌日李店主。被處罰金五圓云。

廢約通告

手續俱完

華盛頓三十一日電。美國國務省。對華盛頓條約廢止通告之英法意三國傳達手續。由三國駐在美國大使。以華盛頓時間三十一日午前七時終了。於茲一切手續。已發表完了。

船員組合

工錢緊爭

香港三十一日電。香港中正南華沿岸航路船員組合。並與中國船主。因工錢問題緊爭中。船主態度强硬。十數隻汽船乘組員。及英人船長機關長等高級船員四十名其他數名外人總罷業。中國人船員約七百名亦參加。一齊自昨三十日起總罷業。此罷業因年末年始。一般影響甚多。目下船員船主俱謀解決。頗堪憂慮云。

前年中羅東郡下

農商工交通業情勢(上)

各街庄概順調發展

羅東郡下昭和九年中。農業商工業及交通業狀況。概要錄左。農業方面。即羅東郡下農業戶數。有四千六百餘戶田園面積。一萬千餘甲。爲維持米價。並圖農村景氣回復。政府施行米穀統制後。羅東農業倉庫。以奬勵金。勸誘各方面。長期寄粟。又各街庄。向農家。附有利條件。奬勵水田。栽黃麻。苧麻及蔬菜。而同郡下。雖第一期水稻因氣候寒冷。稻苗有多少被害。然第一期及第二期水稻收獲額。有十七萬八千餘石。金額達三百二十餘萬圓。就中。因京阪地方風水害。東北冷害。九州及臺灣一部分旱害。自十月。影響于米價激昂。本年米之移出。一萬四千七百餘噸。比客年。實超過三千四百餘噸。自昭和二年來。爲未曾有之佳績。而養豚界。因五結庄。自六月受豚疫猖獗。各街庄仔豚。大告不足。爲是農會。各街庄。熱心講究對策。則時施行豫防注射。及奬飼母豚。並對新竹。桃園方面。周旋仔豚。配付農家。得上順調發達之途。商業方面。近來商店經營方法。多以廉價多賣爲目標。同郡下因山界。資源開拓。諸工事。極呈活況。工人出入頻繁。購買力從而增進。羅東街除設商工會而外。本年電池商。由小資人。爲圖價格統一。及維持優良品並防止不正競爭。組織組合。次米商。因每月之米價告昂。各精米所及雜貨店。皆經營良好。其他過去數年。關于年末大賣出。而本島人方面。由各商店。自設景品。並無聯合店大賣出。然本年得街庄役場。出爲後援。羅東街及三星庄。內臺人一致協力。組聯合店大賣出。各商店之賣出。比客年。約增加有一成也。(未完)

猴々新城間乘合車開通

一般希望增發

以圖地方農商民之便利

蘇澳馬賽猴々間乘合車線路。自去昭和七年。雨森自動車商會不行以來。一般交通。皆感不便。迨去年春。郡當局力講對策。終得羅東共益自動車會社提出乘合車運行申請願書。去年九月。受州許可。該會社。本擬即時。開始運行。嗣因馬賽溪橋梁狹隘。昨年十一月由警察課長極力策進。翌月上旬。遂投一千二百圓。改造橋梁。客臘末竣工。該會社。即開始運行。以圖農商便利。又爲開業紀念起見。一週間乘車賃特收半額。日發車六回。一般感便利。然際此速度時代。乘客利用甚夥。日僅發六回未免過少。且連絡蘇澳行時間。時有不及。若赴不及即遲一時間故。一般乘客。甚望會社更爲圖地方發達。發車增加回數。連絡時間確守。勿使乘客久待難堪。或計畫直通如何云々。

本日天候

多少惡化

據臺北測候所觀測。七百七十八耗高氣壓。滯留滿洲。七百五十六耗低高壓。於九州西部海上。向日本海方面進行。漸次發達。客臘二十日。北陸海上發生之小低氣壓。離去九州方面。一日北東季節風稍強。雲天。細雨綿々。二日亦同樣。本三日。多少惡化。然若小低氣壓。又再發生。自得出春暖日和之天候云。

中央西南合作

杭州會議相當進展

上海一日電。中央。西南合作產婆役王寵惠氏。昔臘二十一日。自香港歸滬後。與汪精衛。孫科孔祥熙等會見。二十二日赴奉化。對蔣介石氏。報告對西南折衝經過。西南側提出合作條件。爲之重要協議。次與蔣介石。同於杭州。晤北上中廣東財政廳長區芳浦。陳濟棠等。更加孔祥熙。開杭州會議。爲此對西南合作辦法。相當進展。王寵惠三十一日夜自杭州歸滬。一日朝所談如左。在奉化與蔣介石會談結果。蔣介石於自分報告頗滿足。然孔祥熙近日中。亦將南下。中央至今夏。得具體的成果。以全國一致之名。今秋欲開代表大會。極力奔走中。

電信長墜江

發見死體

南京一日電。南京碇泊中軍艦浦風電信長二等兵曹根本茂七。三十一日午後十時四十分。誤由艦上。墜落揚子江。即時搜查。一日午後四時四十分。發見死體。

臺北市 加藤紫軒氏畫

新店

新年交禮

新店主催新年交禮會。元旦午前十時三十分。會場假新店庄公會堂舉行。定刻郡下官民。參會者百二十餘名。首由村出庄長述開會及新年詞。各舉觴交歡。終吉田郡守發聲。三唱皇室萬歲。一同唱和。午前十時餘。和氣藹々裡閉會云。

同窓會期

新店庄大坪林公學校。訂來三日午後一時。開同窓會。當日有許多餘興。及會員講話等。旅外會員。亦皆歸來云。

沙鹿

國講修了

大甲郡沙鹿庄六路厝。斗抵。沙鹿第三區三國語講習所。客臘三十日。由出村庄長。及關係官紳多數列席。先後舉修了式。其修了生。六路厝國講男女三十二名。斗抵國講。同二十八名。沙鹿第三區國講。同二十二名。聞其成績。各處均告良好云。

名刺交換

大甲郡沙鹿街。爲迎昭和十年新春。於一月元旦。午前十時在公會堂。開官民合同新年名刺交換會。與會者。官民百三十九名。式畢。在同堂續開新年宴會。至同十一時餘。一堂和氣藹々。三呼萬歲而散。

開所式期

既報由大甲郡沙鹿庄方面委員助成會。創設之無料宿泊所一節。場所置在天公廟南室。經修繕告畢。因開所式期。定來十日舉行云。

遊春者盛

元旦之沙鹿。各地男女。是日多乘機來該街遊春。各線自動車。往來馳驅。新春氣象殊形熱鬧云。

岡山

學聖誕祝

岡山基督教會。客臘二十夜七時起。在同教會堂。舉聖誕祝賀會。首由高智美女士奏樂。次一同吟詩。祈禱。朗讀聖經說教。祈禱。既而入演劇。演題有二十三種。滑稽中有仿印度利夫孫大(サンダシング)初是行排斥基督教後。反悔入信仰。受家族逐出怨恨。以毒藥殺害。呻吟中得救。種々苦楚。觀衆數百人。受感動者不鮮。十時散會。

取締藥商

岡山郡警務課。對郡下藥種商取締嚴重。客臘二十三日。小川警部。赴湖內庄。會當地警官。到頂茄定。陳泰及陳萬々所經營之藥種商。實地檢證結果。兩方免許證皆被取去。陳泰以分診于陳萬。而陳萬誠非藥種商免許人云。

擧祝賀式

岡山郡岡山公學校。元旦午前九時。召集同校兒童。在講堂舉新年祝賀式。是日有當地官民有志。多數列席云。

名刺交換

岡山郡。岡山庄。元旦午前十一時。招集庄下官公民二百六十餘名。在岡山公會堂。開名刺交換會。

會事

▲臺北興亞店員會。訂來三日午前六時。在江山樓開新年慰祝會。該會設已數年。逐年會員增加。威行諸有共存共榮事業云。

人事

▲萬華信昌商店主林瑤信氏夫人林郭氏昌。去二日午前八時半逝去。享年五十有五。現停柩在堂。葬期未定。

小說

櫻花夢

第四二回 鄭太平

秦書記官聞文華言。欲觀太平演技。曰是必有對手。龍爭虎鬬。乃有趣味。文華曰。是與中國拳不同。不能獨演。有一人自江西來。力大無儔。兩手能舉千斤。現在友人家寄宿。我明日邀之來。在館中一鬬。何如。太平曰。彼能舉千斤。我之力誠不知可能及之否。待我一試之。領事館小園內。有磁石琢龍柱一支。極形雄偉重約千斤。不知我之力能扶起否。於是齊出小園。太平脫去上衣。步至柱側。以左手擒龍爪。右手捉龍喉。喝聲起。柱離地尺許。行五步。又提放原處。神色自若。衆人皆爲咋舌驚其神力。太平曰。幸不見笑文華曰。明日務邀那江西拳家來館一試。秦書記官曰。兩虎相鬬。必有一傷。非急無君子生死關頭。非同兒戲。欲比試要請官立會。不如試力。以此石龍柱之能舉不能舉爲標準。萬一如楚子之舉鼎折脫。亦其人之自禍。與他人無涉。文華以爲然。自是館中人等。皆異讚。其人身材與太平相等。相見甚歡。所謂惺々惜惺々。商議如何演試。文華曰。昨訪宗人孝恕。彼云。不如照普通演技之例。請官許可臨監。並設圍場。置觀覽席。徵取入場觀費。新聞廣告。不論何國勇士。又不限資格。凡有技有力者。均可先期報名。取保稿存案。秦書記官曰。然則亦須大做矣文華問江西拳家意見如何。彼姓李名標。亦是前清武門子弟革命之際。所謂敗兵之將。華命黨之領袖。專意厚幣。聘之不就。蓋守義不屈者。李標曰如此則問題弄大矣。我因文華先生之勸誘。逢場作戲。大吹大擂。敬謝不敏。太平亦不欲過於宣揚。皆不贊成孝恕之說文華曰。若然只試舉龍柱。作消遣可也。於是相率入小園。太平讓李標先舉。李標亦不讓。發起雙袖。以左手挾柱。右手垂直不動。行三步。復置原處太平攻之。多行一步。蓋二人之力。在伯仲之間也。諸人以爲無獨有偶。秦書記官招待二拳家及文華二人。往觀辨館午餐。太平爲魏劫時食化當館二段內果。李標亦述其父母皆能姿術。父爲南派。母爲北派自其出生後。即以藥汁洗浸。以象牙消癤。故筋骨如鐵。刀鎗不傷。太平當席留意中國拳鬬手段。即拜之爲師。李標謝不敢當。太平離席作揖。堅求傳授。口稱師父。文華推波之。李標乃許之。日習中國拳須有忍耐性。非一朝一夕所能要自家訓練。所謂師者。不過指示門徑耳。與人規矩。不能使人巧。太平曰。師父教時務欲離開。李標曰。現時如大海之一葉舟。隨波逐流。行止固無定也。秦書記官曰。我領事館正需勇士。可否爲我館衛君不棄爲寓人用。去亦無所之文華從旁勸說。李標爲敬太平便利。慨然許之。李標自是亦爲護託。常住日本領事館矣。(雪泥)

勅題池邊鶴

○ 張滄洲

御苑春回喜氣生。飛鳴聲出九重城。瑤池日麗神仙爽。太液波澄光倍清。竹屋一間千歲隱。雲霄萬里寸心榮。丹山綵鳳來同伴。共沐恩波感聖明。

○ 駱子珊

曾放長鳴太液邊。不甘偏促憩青田。平生自具凌霄志。展翅瑤池近九天。

乙亥元旦

黃南鳴(藉名欣)

無限春消息。園梅次第開。屠蘇一樽酒。爆竹萬聲雷。閱世慚知命。治生信不才。乾坤容獨醉。花外且衔杯。

○ 基隆 大盤面江

紀年迎乙亥。瑞氣入元正。案上看梅蕊。池邊聽鶴鳴。一身欣建壯。全國慶昇平。無復烽雲起。臣民沐聖明。

○ 臺北 林江清

一轉洪鈞歲月更。樽傾椒酒喜春迎。浮名鼎々多何羨。蠅利區々也力爭。包鳳日斜慚臥伏。碧霄霧歛待鵬程。黨陶受顧兒勸敏。茅塞早開學早成。

○ 汐止 陳川廣

臘鼓催殘歲。春回景物遷。豚蹄占利日。稻熟卜豐年。擊壤歌家世。頌椒醉綺筵。皇恩沾遍及。共樂戴堯天。

○ 屏東 楊北山

端月初臨候。風光景物殊。寅回燒竹爆。歲轉換桃符。雪逼双蓬鬢。寒消一酒壺。梅花才放罷。錦繡滿坡鋪。

○ 王雲鶴

如水年華急。匆々又一春。桃紅迎醉眼。柳綠映吟身。爆竹聲中鬧。屠蘇醉裏鈍。昇平無限好。鼓腹樂芳辰。

○ 曾彭金龍

乙亥迎年首。椒花獻帝闉。家々揚旭日。戶々接陽春。柏酒巡三盞。餐盤具五辛。君民咸利樂。大地歲華新。

○ 廖森榮

十建回寅日。人迎乙亥年。三陽開錦綉。萬象現新鮮。柏酒浮瑞氣。門松結瑞烟。春王臨大地。戶々樂堯天。

漢文臺日案內

醫院

臺北永樂町(電二三八八)入院附設

高產婦人科醫院